

要安全確認計画記載建築物（防災拠点建築物（第3次指定分））の耐震診断結果の公表

令和8年1月20日現在版 福島県建築指導課

■耐震診断結果の総括表

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

所管行政庁	建築物の数			地震(震度6強以上)に対する安全性			工事中 (内数)	耐震化率
	計	所有者の区分		I	II	III		
		公共	民間	倒壊・崩壊の危険性が 高い	倒壊・崩壊の危険性が ある	倒壊・崩壊の危険性が 低い		
				現行耐震基準未満（耐震改修等の努力義務あり）		現行耐震基準相当		
福島県	2	1	1	1	0	1	0	50.0%
いわき市	1	0	1	0	0	1	0	100.0%
	合計	3	1	2	1	0	2	66.7%

※ 1つの建築物に対し、診断結果が複数ある場合は、安全性が低い方のランク（Ⅰ＞Ⅱ＞Ⅲ）で集計しています。

※福島県所管以外の区域については、所管行政庁である市において、結果の公表を実施しています。

※耐震化率は地震（震度6強以上）に対する安全性がⅢの建築物を建築物の総数で除したものです。

要安全確認計画記載建築物(防災拠点建築物)の耐震診断結果(所管行政庁:福島県)

■第3次指定

令和8年1月20日現在

No.	市町村	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	災害時の用途	耐震診断の方法の名称	耐震診断の評価の結果(目標値)	安全性の評価(Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)	耐震改修等の予定		備考 (改修予定等の補足)
										内容	実施時期	
A	B	C		D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	本宮市	医療法人慈久会谷病院	①ーA棟	本宮市本宮字南町裡149番地	病院	医療救護施設	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017 年版)	$I_s/I_{so}=0.51(1.0)$ $C_{TU} \cdot S_D=0.386(0.3)$	Ⅱ	移転	令和13年(予定)	別敷地に新築
			①ーB棟				一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017 年版)	$I_s/I_{so}=0.40(1.0)$ $C_{TU} \cdot S_D=0.304(0.3)$	Ⅰ	同上	同上	同上
			②棟				一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017 年版)	$I_s/I_{so}=0.63(1.0)$ $C_{TU} \cdot S_D=0.386(0.3)$	Ⅱ	同上	同上	同上
2	三島町	三島町役場・三島町民センター		三島町大字宮下字宮下350番地	庁舎	災害拠点施設	一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so}=1.16(1.0)$ $C_{TU} \cdot S_D=0.91(0.3)$	Ⅲ			耐震改修済 令和3年1月完了

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い	II 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険がある	III 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990 年版)		$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$ $1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001 年版)		$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版、2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合	$IS/IS_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq IS/IS_0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996 年版、2011年版)		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」及び「精密診断法」		上部構造評点 < 0.7	左右以外の場合	$1.0 \leq$ 上部構造評点